

評価表（地域密着型特定施設入居者生活介護）

区分	評価項目			評価基準		評価点		医療法人京都翔医会
法人評価・事業の継続性・安定性	事業実績	施設運営の実績	場単当合独該でサ「募ビするを	当該サービスを3年以上運営している。（令和6年4月1日時点）		10	該当するものいずれかに○	10
			本市内で介護・医療・福祉事業を3年以上運営している。（令和6年4月1日時点）		7			
			代表者又は管理者が当該サービスにおける介護等の実務経験を3年以上有する。（令和6年4月1日時点）		3			
			本市公募案件で選定内容の不履行がある。【以下のいずれかに該当があれば減点】 ・選定辞退又は事業所を廃止したことがある。〔辞退した日又は廃止日から6年間〕 ※ ・開所年度の遅延又は定員不足で開所したことがある。〔開所した日又は不足を解消した日から3年間〕 ・事業所を休止したことがある。〔再開した日から3年間〕 ※ ※当該事業所の指定から10年経過後の休止又は廃止は除く。		-15		0	
	決算状況	収支（単年度）の状況	過去2年間の単年度決算が黒字である。		(いずれも黒字) 5	(いずれか黒字) 3	3	
		収支（累積）の状況	直近決算が累積黒字である。		5		0	
		財務外部監査の実施状況	監査法人による外部監査を実施している。		5		0	
	信頼性	第三者評価の受審	令和2年度～令和5年度の間に、第三者評価を受審している（法人の運営する全サービスの既存事業所のうち1事業所以上、他の都道府県のものでも可、ただし、同一法人内の事業所に限る）。※地域密着型サービスで受審が義務付けられている外部評価を除く。		5		0	
		実地指導の指摘状況	過去2年間（令和4年度・令和5年度）に、法人の運営する全サービスの既存事業所のうち、次の指導等を受けたものがある。【以下のいずれかに該当があれば減点】 (1)勧告・命令等 (2)文書指摘事項（サービス計画未作成・不備、避難訓練未実施、事故・苦情記録未整備、虐待防止及び身体的拘束に関するもの、個人情報保護に係る不備、報酬返還を伴うものに限る）		《(1)に該当》 -10	《(2)に該当》 -5	0	
施設・設備・運営計画	計画地	所有関係	土地及び建物が自己所有である。		(いずれも所有) 5	(いずれか所有) 3	0	
	施設・設備	安全性	緊急時の避難に配慮し、平屋建てであるか、2階建て以上の場合に周回バルコニーを設置している。		5		0	
		食堂・機能訓練室の面積	利用者1人当たりの面積（内法）		(6㎡以上) 5	(4.5～6㎡未満) 3	0	
		居室の面積	施設内の最小床面積の1室の面積を18㎡以上確保している。（内法）		5		5	
		トイレの設置状況	トイレを各居室に設置している。		(各居室に設置) 5	(3人に1箇所) 3	5	
			利用者3人に対して1箇所以上設置している。	いずれも居室のある階ごと				
			車椅子用トイレを設置している。					
		浴室の設置状況	浴室を設置している。 ※浴槽を設置していることが必要。シャワーのみは不可		5		5	
			特殊浴槽を設置している。		5		0	
	地域交流スペース	15㎡以上のサロンを設置している。（内法）		5		0		
	人員	管理者の実務経験	介護職員等としての実務経験が10年以上の者を配置している。（令和6年4月1日時点） ※管理者等、直接処遇でない職種の実務経験を除く。		5		0	
			管理者としての実務経験が2年以上の者を配置している。（令和6年4月1日時点）		5		0	
		介護職員等の配置	利用者2人に対して常勤換算方法で1人以上配置している。		5		0	
	利用料金の設定等		入居に当たり一時金又はそれに準ずる費用がない。		5		5	
	協議事業に係る併設等の営業体制		定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービスのいずれかを併設する。		5		0	
合 計						100		38
評 価 順 位						①～⑳		⑨